

発掘から想像する
縄文時代展

今から約1万3千年前に始まった縄文時代は1万年も続いていたとても長い時代です。この時代を生きた縄文人のくらしは資料が少なく、知られていないことが多くあります。

今回の企画展は、知られざる縄文人のくらしを、発掘資料からできるだけ想像し、イラストや模型を使ってわかりやすく展示しています。



△土器づくりのようす



△発掘された土器

新延貝塚（鞍手町）

川島・殿ヶ浦遺跡（飯塚市）

【鞍手の縄文時代のようす】
鞍手町で最初に人が住み始めたのは今から約6千年前の縄文時代です。このころの鞍手町はどのような環境だったのでしょうか。鞍手町は芦屋から中山、小牧、八尋あたりまで海が広がり、山に囲まれた自然豊かなところでした。このことは発掘調査が行われた新延貝塚や古月貝塚の調査結果からも知ることができます。

【おしゃやかな縄文人】

縄文人はおしゃやれたと言われています。これは貝塚から発見された縄文人が貝製プレスレットをしていたことや、石製イヤリングや小動物の歯を加工した

ネックレスが出土していることから考えられます。

【縄文人の食生活】

食生活はどうだったのでしょうか。ただ現代のように稲作は行われていなかったため、縄文人たちは海で貝や魚を採ったり、どんぐりなどの木の实を採集したり、時には弓などを使って、イノシシやシカをおとし穴に追い込む狩猟をしたりしていました。現在のように食材を長期に保存することができなかったため、新鮮な食材を食べていたのでしょうか。博物館で縄文人のくらしを想像しませんか。



△貝を捨てるようす



△埋葬のようす



△狩りのようす

ビックリ
1

約 10 メートルの貝層初公開!!
初公開となる古月貝塚(鞍手町木月)の約 10 メートルの貝層展示は、福岡県内で最大級のものです。

ビックリ
2

山鹿貝塚の装飾品を大公開!!
教科書にも載っている山鹿貝塚(芦屋町)や、遠賀川流域から出土した装飾品が公開されます。

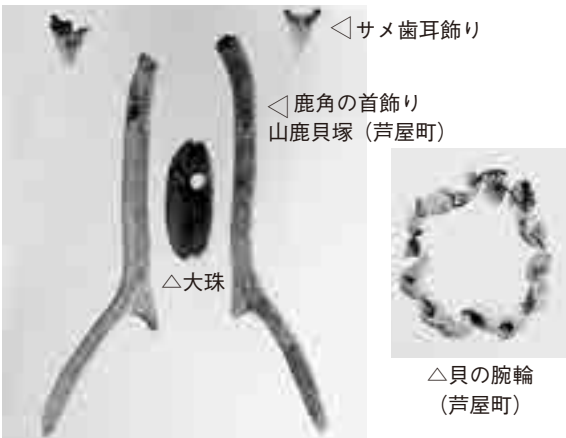
ビックリ
3

復元された縄文土器展示!!
縄文時代早期から後期に作られた大小さまざまな形の土器を一堂に展示します。



△調理をするようす

縄文村再現ジオラマ



◁サメ歯耳飾り

◁鹿角の首飾り
山鹿貝塚(芦屋町)

△大珠

△貝の腕輪
(芦屋町)



△猪牙の耳飾り
(芦屋町)

△クジラ歯の首飾り
天神橋貝塚(直方市)

△ヒスイの首飾り
榎坂貝塚(岡垣町)

△発掘された装飾品の数々

【関連イベント】

- 11月10日(土) 縄文人を想像しよう
10時~10時30分 絵本で想像する縄文時代(読み聞かせ)
10時30分~12時 縄文村をみんなで作ろう(定員20人)
(縄文人のくらしを紙ねんどを使って作ります)
- 11月24日(土) 縄文人を体験しよう
10時~12時 ◆まが玉をつくる(定員20人)
展示室の縄文のまが玉を見て、まが玉を作ります。
◆土偶をつくる
紙ねんどを使って、土偶を作ります。

※申し込みなど詳しいことはお問い合わせください。

入館料無料

2012

10 27 (土) - 12 9 (日)

開館時間: 午前9時~午後5時

休館日: 毎週月曜日

鞍手町歴史民俗博物館

〒807-1311

福岡県鞍手郡鞍手町大字小牧 2097 番地

TEL 0949 - 42 - 3200